

〇〇もんずら



掛け声が生み出すもの

6月30日午前2:00 オーバモニッポン！

ニッポンオーレオーレ！ワールドカップブラジル戦。ヒュース

トンで、日本あちこちで応援が一つになって選手に届いた。激闘！激闘！

7月4日 こども園ひがしどおり第15回運動会。小さなヒーローたちの大活躍に負けじと激戦になったのは、保護者対抗綱引き。セッセッセッセイッ！綱を握る手のひらに力が集中する。セッセッセッセイッ！掛け声のリズムでチームの力が一つになった！

7月6日 カモン！大坂なおみ選手が聖地ウィンブルドンで世界1位を撃破。

7月19日 ヤットパレヤットパレ！ヤレヤレヤレヤレ！老部両皇神社の例大祭、小中学生の囃子にのって、子供たちと大人たちの声の掛け合いが山車を引く力を増す。白糠赤岩神社の例大祭でも山車が動いた。ヤットヤレヤットヤレ！ヤレヤレヤレヤレ！長い坂道なんのその、子供も大人も声と力が一つになって重い山車を動かしている。

おなじみ「わっしょい」という掛け声は和を背負うという意味があるとのこと。みんなで力を合わせて神輿を担ぐ、神様に対する感謝の念を示しているとも言われています。リズムのある掛け声には、苦しさを楽しさに変えてくれる力があります。大きな声を出す、体の中にあるものすべてを出し切ったその力が一つになって世界を動かしているのでは！

私には大好きな掛け声があります。それは・・・・・・・・。

おおきなかぶ ロシアの民話 うちだりさこ やく

おじいさんが、かぶのたねをまきました。

「あまいあまいかぶになれ。おおきなおおきなかぶになれ。」

あまい、げんきのよい、とてつもなくおおきいかぶができました。

おじいさんは、かぶをぬこうとしました。

「うんとしょ、どっこいしょ。」

ところが、かぶはぬけません。

おじいさんは、おばあさんをよんできました。

おばあさんがおじいさんをひっぱって、

おじいさんがかぶをひっぱって、

「うんとこしょ、どっこいしょ。」

それでも、かぶはぬけません。

おばあさんは、まごをよんできました。

・・・中略・・・

ねずみがねこをひっぱって、

ねこがいぬをひっぱって、

いぬがまごをひっぱって、

まごがおばあさんをひっぱって、

おばあさんがおじいさんをひっぱって、

おじいさんがかぶをひっぱって、

「うんとこしょ、どっこいしょ。」

やっと、かぶはぬけました。

(1954年から小学校一年教科書に掲載続く)

